

新庁舎1F・5F・6F

1F



新庁舎1階のTVでは、議会中は議場でのライブ映像が配信されています。
また、彦根の赤甲冑も展示されています。

6F



6階の展望スペースでは見晴らしの良い景色がご覧になれます。



ピアノも設置されておりますので自由に演奏して頂けます。

5F

新庁舎5階の議場入口に歴代議長の写真が掲出されました。
新庁舎へお立ち寄りの際はご覧ください。



活動報告

新しい彦根へ。

彦根市議会議員

もりの克彦

かつ ひこ

ご挨拶

平素は、皆様には格別のご支援、ご高配を賜りまして誠にありがとうございます。
令和3年4月25日に行われました彦根市長選挙によって8年間続いた大久保市政が終了し、和田新市長のもと新たな行政運営が開始されました。誰が市長になったとしても、我々議員の使命は行政運営が適正に行われているか監視・審議・指摘することであり、市民の皆様にとって必要なサービスが市民ファーストで実行されるよう、議員としての職務を遂行してまいります。引き続き、皆様のご支援、ご指導を宜しくお願い致します。

■事務所 〒522-0025 滋賀県彦根市野田山町485 ☎0749-21-1111 ✉morino@siren.ocn.ne.jp
■自宅 〒522-0007 滋賀県彦根市古沢町480-5 ☎0749-46-5546

▼略歴
●滋賀県立米原高等学校 理数科 卒業
●兵庫県立神戸商科大学 商経学部 経済学科 卒業
●滋賀大学 大学院修士号取得(経営学)
●滋賀大学 大学院修士号取得(経営学)
●森野税理士事務所 ●彦根市議会議員

もりの克彦 検索

<http://morino-katsuhiko.com>

次回の定例会の予定

9月定例会

- 9月6日(月) 開会(市長提案説明)
- 13日(月) 質疑・一般質問(代表質問・個人質問)
- 14日(火) 質疑・一般質問(個人質問)
- 15日(水) 質疑・一般質問(個人質問)
- 16日(木) 質疑・一般質問(個人質問)
- 21日(火) 予算常任委員会
- 22日(水) 市民産業建設常任委員会
- 24日(金) 企画総務消防常任委員会
- 27日(月) 福祉病院教育常任委員会
- 29日(水) 本会議
- 10月6日(水) 決算特別委員会
- 7日(木) 決算特別委員会
- 8日(金) 決算特別委員会
- 13日(水) 閉会(委員長報告、質疑、討論、採決)

11月定例会

- 11月29日(月) 開会(市長提案説明)
- 12月6日(月) 質疑・一般質問(個人質問)
- 7日(火) 質疑・一般質問(個人質問)
- 8日(水) 質疑・一般質問(個人質問)
- 10日(金) 予算常任委員会
- 13日(月) 企画総務消防常任委員会
- 14日(火) 福祉病院教育常任委員会
- 15日(水) 市民産業建設常任委員会
- 20日(月) 本会議

議会における所属委員の異動について

前期

(2019年5月～2021年4月)

予算常任委員会委員
市民産業建設常任委員会委員
広報委員会委員



後期

(2021年5月～2023年4月)

決算特別委員会委員
企画総務消防常任委員会委員
広報委員会副委員長
議会運営委員会委員
彦根市・犬上郡営林組合委員
公政会会計

※その他政党彦根支部連絡協議会会計

森野税理士事務所

日本税理士会連合会
近畿税理士会第139774号
日本税理士政治連盟

法人税申告、所得税申告、消費税申告、相続税・贈与税申告、事業承継等

事務所に各種相談等受けておりますので、お気軽にご相談ください。

平日 9時00分～17時00分
彦根市野田山町485
土日祝 休み(繁忙期、予約等の場合は対応しております。)
連絡先 電話 0749-21-1111
FAX 0749-21-1110
メール morino.tax.a.30007@gmail.com



ひこねランチ広場 飲食業応援プロジェクト

新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受けている市内飲食事業者等を応援するため、彦根市役所の敷地を利用して、テイクアウトまたはキッチンカーによるランチタイム営業開始！
(テイクアウトのみで会場内での飲食はできません)



実施期間 **令和3年7月30日(金)～**
令和3年12月24日(金)の間の毎週金曜日

是非ご利用いただきまして、市内飲食業の皆様のご支援をお願い致します。



※※事業者様の出店登録申込は令和3年7月14日(水)～詳細は彦根市HPにて※※

和田新市長に対する3つの一般質問のQ&A

1 子育て・教育環境の整備について

主管課：保険年金課
答弁者▷市長

令和3年4月25日に行われました彦根市長選挙において、すべての候補者の方が政策として掲げておられました子育て支援については、われわれ子育て世代の間では今回の選挙戦の注目すべき内容の一つでありました。子どもの医療費負担の軽減、小中学校の給食費の無償化については保護者だけではなく、子ども達の間でも会話に出るくらいその内容についての関心と期待は大きかったのではないのでしょうか。これは、現在の彦根市の子育て・教育環境の整備が、近隣他市町と比較しても遅れていることを物語っているのではないかと感じました。候補者全員がこの政策を掲げており、誰が当選してもこれらの無償化は実現すると子育て世代の方々からは期待の声があり、それだけ現在の子育て世代の経済的な負担が大きいことを実感しました。しかし、その具体的な実施の時期について言及されていたのは獅子候補のみであり、「小中学生の給食費は今年9月から、医療費は来年度から全額無償にします」と選挙公報でその時期を明確化し、公約は必ず実行しますと記されておりました。その他の候補者の方々は明確な実施の時期等については明言されておらず、子育て世代の間では最近、本当に実現するのだろうかという不安の声が広まりつつあります。

1 中学3年生までの医療費無償化拡大について

主管課：保険年金課
答弁者▷市長

① 中学3年生までの医療費無償化の時期と進捗状況は？

市長の任期期間中(令和6年度まで)に小学4年生から6年生までの医療費無償化を実施する。その後、財源確保の状況等を踏まえ中学3年生までの医療費無償化に着手する。

② 必要な財源の額および財源確保策は？

小学4年生から6年生までの医療費無償化に必要な財源は年額約6,300万円。中学1年生から3年生までの医療費無料化に必要な財源も年額約6,300万円必要。財源の確保については、現在の各種事業のうち、必要性が高いものや費用対効果が高いものに厳選して速やかに財源の確保に努める。

③ 子育て・教育関連の他の予算に対する影響は？

子育て支援施策全体が市長の公約の根幹を成すものであり、他の子育て・教育関連施策に影響がないよう財源確保に取り組む。

④ 当該政策の実現に対する市長の考えは？

小学4年生から6年生までの医療費無償化については今回の任期中に実現させるが、中学1年から3年生までの医療費無償化については、今回の任期中にできるかどうかはわからない。また、医療費無償化に取り組むうえで、現在ある他の子育て教育関連の予算を削減することは一切ない。

2 小中学校の給食について

主管課：学校給食センター
答弁者▷教育部長・市長

① 小中学校の給食無償化の時期と進捗状況は？

市長の任期期間中(令和6年度まで)に先行して中学校給食の無償化を実施し、その後財源確保の目的が立ち次第、小学校給食の無償化に着手する。

② 必要な財源の額および財源確保策は？

現在の保護者負担の学校給食費約4億3,000万円(小学校2億8,000万円、中学校1億4,000万円)が必要。財源の確保については、現在の各種事業のうち、必要性が高いものや費用対効果が高いものに厳選して速やかに財源の確保に努める。

③ 子育て・教育関連の他の予算に対する影響は？

子育て支援施策全体が市長の公約の根幹を成すものであり、他の子育て・教育関連施策に影響がないよう財源確保に取り組む。

④ 給食の量が少ないという子どもたちに対する見解は？

学校給食の量を全体として増やすのではなく、学校内やクラス内において、個々に応じて給食の量を調整することにより、多くの子どもたちが満足できるよう取り組んでいく。

⑤ 当該政策の実現に対する市長の考えは？

中学校の給食費の無償化については今回の任期中に実現させるが、小学校の給食費の無償化の実現については、現時点では約束手続きではない。当該施策の実現のために、他の子育て・教育関連の予算を削減することはない。

3 小中学生の視力保護対策について

主管課：学校ICT推進課
答弁者▷教育長

小中学生に一人一台のデジタル端末を配備する「GIGAスクール構想」が完了し、学校でも授業で利用する機会が増え、また、今後デジタル教科書の利用促進も見込まれるなか、問題視されているのが近視など視力への影響です。文部科学省でも小中学生の近視の現状を把握するため初の大規模実態調査が実施されました。近視は成人してから緑内障や網膜剥離など失明につながる病気になるやすいとの指摘もあるなか、現在、どのような視力保護の対策をしているのか。

① 視力保護の対策の現状は？

学習用端末を使った学習時は、正しい姿勢で画面に近づきすぎないことや、30分に一度は遠くを見るなどして目を休めながら学習に取り組むよう、ルールを定め各学校へ周知している。

② 今後の対策は？

今後発表される予定の文部科学省の視力対策用の啓発資料も効果的に活用し、学校、子ども、保護者ともに視力保護に対する意識を高めていく。

3 災害時における備蓄食について

主管課：危機管理課
答弁者▷市長

近年、全国各地で起こる自然災害は想像を超える被害をもたらしたり、またこれまで起こることがなかったような場所で、予期せぬ被害が発生したりと油断ができない状況であります。彦根市でも今後予期せぬ時に予期せぬ非常事態が発生することを考えた対策が必要であります。災害時の避難所では、水がない状況が発生し、その後おにぎりやパンなどの炭水化物・糖質の多い避難食により栄養が偏り、さらには食べ残しや賞味期限切れのゴミによる悪臭、虫の発生などの問題が発生します。災害時対策の質の向上はその必要性と重要性が増し、ただ食べる場所があればよい、ただ食べる物を備えておけばよいという災害対策の時代は終わりました。質の低い災害対策は二次災害をもたらす危険もあり、高齢者向けの段ボール簡易ベッドを用意したり、妊婦や小さい子ども連れ専用避難所を用意したり、各自治体で災害時の対策の質の向上にも取り組んでいる状況であります。本当にそれらが必要となった時、今のままの備蓄食で本当に大丈夫でしょうか。当然予算の関係は考慮する必要がありますが、誰しもが理解しています。しかし、いつ起こり得るかかわからない事態での市民の、子どもやお年寄りの命がかかっています。真に必要な備蓄品を蓄えておく必要があると考え、以下質問させていただきます。

1 災害時における備蓄食について

① 災害時の備蓄食の保存量は？

令和3年5月末現在、『わかめご飯』26,540食、『梅がゆ』12,550食、『クラッカー』19,300食、『飲料水』500ml×81,120本、『粉ミルク』1箱130g×1,040箱。

② 期限切れの備蓄食の取扱いは？

賞味期限が1年以内に迫った食料を対象に、彦根市防災訓練の参加者に配布したり、募集のあった自治会に配布したり、彦根市社会福祉協議会が運営するフードバンクひこねへの提供も行っている。

一般質問の詳細について
[発言順位9番目]

ライブ配信・録画配信で
視聴していただけます。



所属会派は
公政会
です。

所属
委員会

- 決算特別委員会
- 企画総務消防常任委員会
- 広報委員会
- 議会運営委員会

2 個別通学路の安全対策について

主管課：道路河川課
答弁者▷都市建設部長・市長

大津市で園児らが歩道に乗り上げてきた車の被害に遭い死傷した事件から2年が経過しましたが、全国各地では考えられないような事故や事件の発生が後を絶ちません。車が歩道を通行したり、店内にいてもどこからでも車は突っ込んできます。今年2月には豊郷町で小学生の登校に付き添いをしてきた保護者が包丁で頭を切りつけられるなどの事件も発生しております。また、先月には千葉県で下校中の小学生の列に飲酒運転のトラックが突っ込み、5名が死傷する事件も発生しました。一見静かで穏やかで安全そうに見える場所が一瞬にして事故現場、事件現場に変容する現代、いっどこで何が起きるか分からない世の中ですから、その完全な防止対策は困難であるように感じます。しかし、誰が見ても明らかに危険であるという箇所については、子どもや市民が危険にさらされないように対策することは可能であるし必要であると考えます。市内にもたくさん、対策が必要な通学路等があり、限られた予算の中で、優先順位を見極め、順次対策をして頂いていると思いますが、その中でも私が特に危険と感じている箇所10年以上様変わりせず整備・対策がされないままの通学路がありますので、その個別か所についての整備の必要性と今後の対策等について伺います。

1 佐和山小学校から彦根東中学校間の「ひこね芹川駅」付近の高架下について

資料①をご覧ください。この高架下は佐和山小学校の児童、彦根東中学校の生徒が毎日通学する道路です。次に資料②③をご覧ください。高さ2.4mでその上を定期的にJRと近江鉄道の電車が通り歩行者からすると凄いな音がしますし、幅は車一台がギリギリ通れるくらいの狭い道路となっています。次に資料④をご覧ください。こちらの写真は反対側から撮った写真で、こちらからトンネルに向かって行く車や自転車、歩行者からは反対側から来る車や自転車、歩行者の状況が非常に分かりにくく、両方から侵入してきた車両のどちらかがバックして道を譲らなければならない状況が頻繁に生じており、また線路添いの側道側からトンネルに侵入してくる車もあるため、トンネル付近での車の通行は非常に危険な状態です。その脇で歩行者や自転車が車の通行がない間に通行しようとしているような状況もあり、雨の日はトンネルの手前に水たまりができて車が通ると通行待ちをしている自転車や歩行者にかかったりもします。朝の時間は通行止にしてスクールガードの皆さんが対応してくれていますので安全ですが、それ以外の時間帯では通行止めにはできず、下校時の子ども達や通行人が非常に危険な状態のもと当該道路を利用しています。



① 危険性についての認識は？

佐和山小学校や彦根東中学校の児童生徒の通学路となっており、歩行者や自転車の通行が多い道路であるが、狭隘で見通しが悪く、対策が必要な道路であると認識している。

② 安全性向上のための今後の対策は？

当該道路の抜本的な対策については、構造的に車道と歩道を分離することにより安全が確保されると考えるが、その実現のためには鉄道と道路の立体交差化を伴う道路拡張が必要となり、用地補償や大規模工事を伴うため多額の事業費を要するため、現段階では非常に困難である。

③ この道路の危険性と整備の必要性に対する市長の見解は？

現地を確認したが対策の必要があると考えるが、抜本的な対策は多額の予算が必要であり現時点においては早期の事業化は困難である。可能性としては、デジタルのモニターで見通しの悪さを解消するなどの対応も含め任期中の対策の実現については言及できないが、問題意識を持ち続け検討していく。

2 古沢町の地下道について

主管課：道路河川課
答弁者▷都市建設部長・市長

資料⑤をご覧ください。ここは彦根警察署の近くにある跨線橋の下にある地下道で、古沢町松縄手から宮崎商店という八百屋さんの前につながる地下道です。この地下道を先日3日間以上雨が降っていない晴れの日の朝に通行しました。資料⑥⑦をご覧ください。この地下道の入口ですが、看板には、「注意、不審者出没」、「危険、衝突や衝突しそうになったという報告がよく寄せられています。」「犯罪パトロール重点地区」という看板が立っています。晴天3日目にもかわらず入口には水たまりがあり、地下道の途中でも数カ所コンクリートの地面を踏むとグラグラで水が溢れ出す箇所がありました。資料⑧をご覧ください。高さは175cmで幅は手を広げると両端が届くくらいの狭さで、壁には給が掛かっていますがそれでも全体的に汚く暗い感じの通路で、それほど短くもなく50m以上の距離はあり、さらに、一直線ではなく2カ所ほど屈折しているため先の見通しも悪い通路となっています。晴天時においてもこのような状態であり、その後、雨の降る日に再度中を通り確認すると、入口付近の水たまりは大きくなり、地面を踏むと水が溢れ出す箇所も増え、さらに途中の横の壁から水が垂れ流れている箇所もいくつかあり、天井からも水滴が落ちてくる箇所がいくつかありました。その上、地下道の中の臭いはドブのような臭いが立ち込めており、また、タバコを吸いながら通行した人がいたのか、タバコの匂いが充満していました。そのような状況の朝、子ども達がこの地下道を通学して行きました。



① 危険性についての認識は？

城北小学校の通学路としても利用されており、経年劣化や漏水により、一部通行に支障をきたしていることや、地下道であるため暗く、目に付きにくいことから犯罪の危険性についても認識している。

② 安全性向上のための今後の対策は？

安全性向上のため、定期的にパトロールを実施するとともに、通行において支障となる箇所については補修を実施していく。また、防犯対策については地下道を明るくする対策として、壁面の塗装や、照明灯のLED化による照度確保が考えられる。

③ この地下道の危険性と整備の必要性に対する市長の見解は？

定期的にパトロールを実施し、通行において支障となる箇所については補修を実施する。また、防犯対策としての壁面の塗装や照明灯のLED化による照度確保についても年次的な対応を検討していく。市民の皆様が、安全に安心して通行していただけるよう、防犯対策も含め、必要な対策を実施していく。

③ 備蓄食の質についての問題点は？

種類が少ないことが課題である。しかし、お粥タイプや粉ミルク備蓄することによって、固形物が食べづらい高齢者や、咀嚼力の弱い乳幼児に配慮しており、一定の質は確保している。

④ ゼリータイプの備蓄食についての見解は？

高齢者や乳幼児においても食べやすく、断水時にも水分を補給しつつエネルギーの摂取が可能であり、栄養価の高い備蓄食であると認識している。しかし、1個あたりの内容量が少ないものが多く、単価の面でも、主食の代替品としては課題がある。

⑤ 災害対策の質の向上に対する市長の見解は？

ハード面においては、避難所等での生活向上のため、プライバシーの確保や感染症防止に向けたバーテーションの備蓄や、災害時応援協定を締結し、段ボールベッド等を提供いただける体制の整備に取り組んでいる。ソフト面については、避難所運営マニュアルの新規作成や訓練等によって市職員の対応能力の向上にも努めている。今後も避難される方が快適に過ごせるよう、食糧等の備蓄をはじめ各種防災対策の充実にも努めていく。議員ご指摘の通り、すぐにでもしっかりとした栄養の摂取が必要な方のために、全部というのは無理ですが、一部でもゼリータイプの備蓄食の導入ができるよう検討していく。

